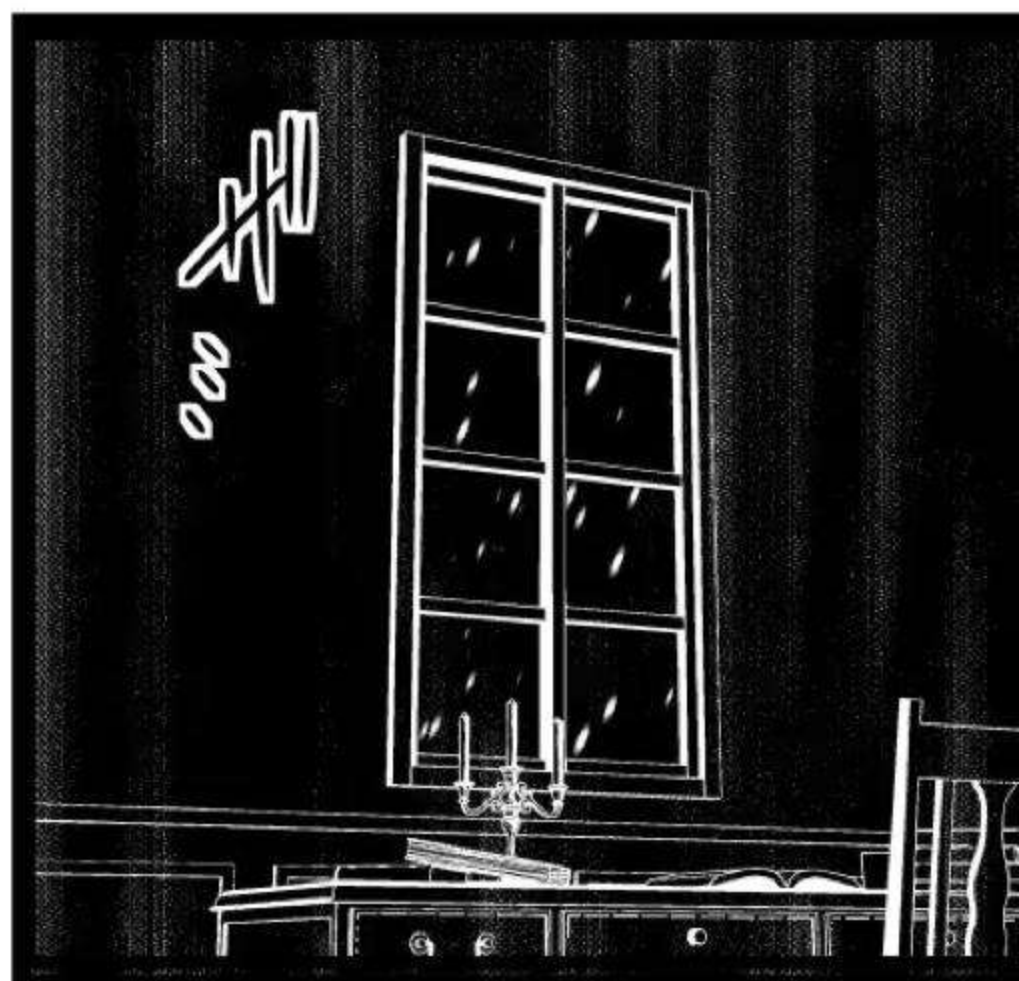
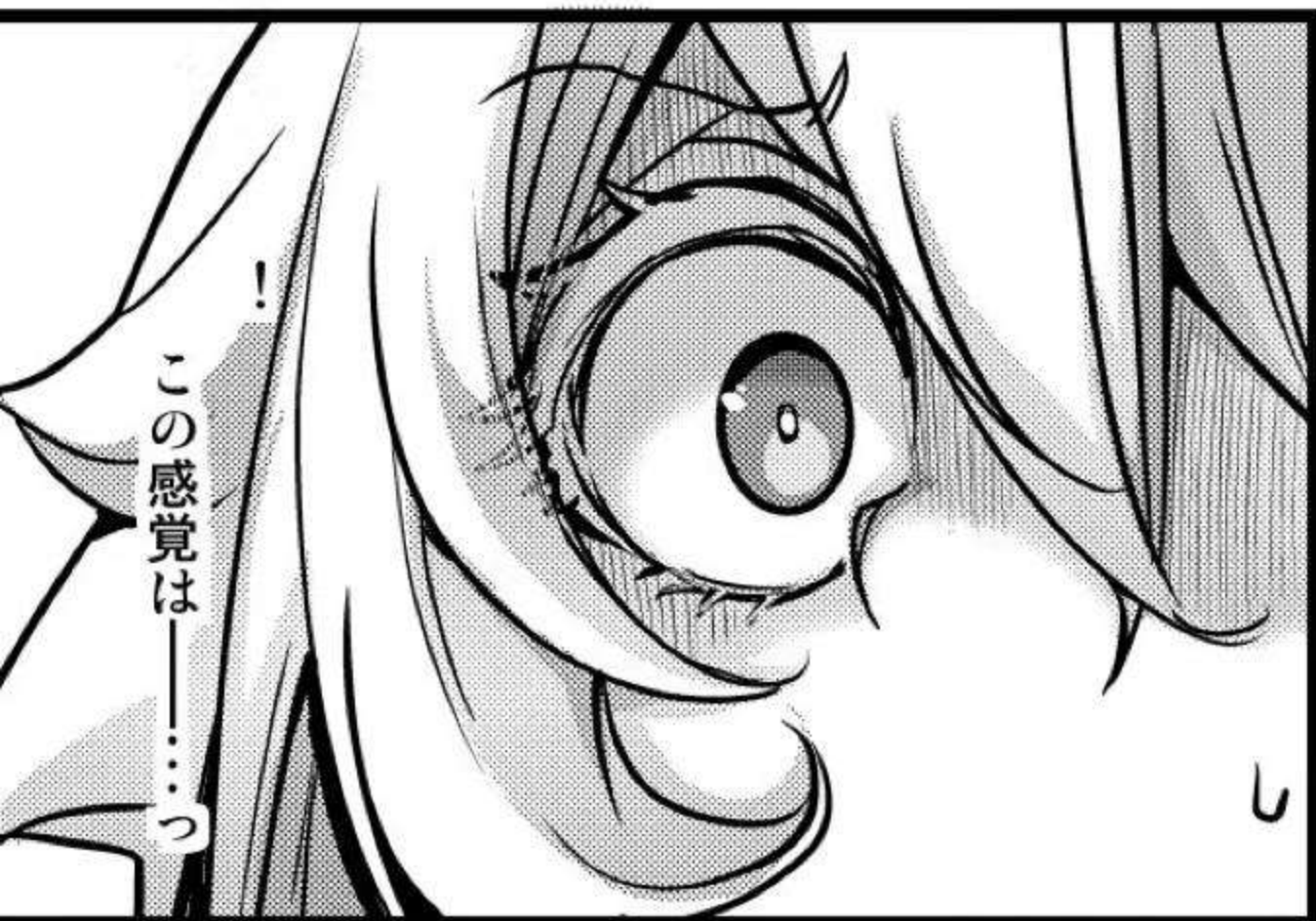




存在X

やはり貴様か！



神ならば
そのご自慢の力で
どうにかして
みては？

…わかった
そうしよう

？

な…!? 左目が…

九五式を使用した時の
状態にした



貴様は自分から愛する
事が出来ないようだ

愛される喜びを知れば
自ずと神を信仰しよう

その目で見、名を呼ばれた
者は貴様に魅了される

は!
!?

解除したければ人を愛せ
そうすればその目も戻る



……！デグレチャフ少佐
どうしたんだその目は



何があった？
すぐに軍医に……

いえ、視力に
影響はございません
すぐに良く
なります



それでは小官は
失礼します



レルゲン大佐

本日の仕事
が
終わり次第少佐の元へ
行つて軍医に見せるよう
説得してくれ

はっ！



お見苦しい姿で
申し訳ございません



存在Xめ
また余計な事を…っ



愛がどうたらと
バカらしい!!
とはいえこの目の
効果が本物かどうか
試すわけにもいか
ない以上



…はっ!!
はいっ!

少々お待ち
ください



少し良いか?

デグレチャフ少佐、
レルゲンだ



失礼する



すまない
緊急だから入るぞ



いかなさいましたか？

ガーゼが見つからず…
このような状態で
申し訳ございません！



昼も申し上げ
ましたが
問題ござい
ません

その目の事だ
明日にでも
軍医に診て
もらいなさい



デグレチャフ少佐
命令だ

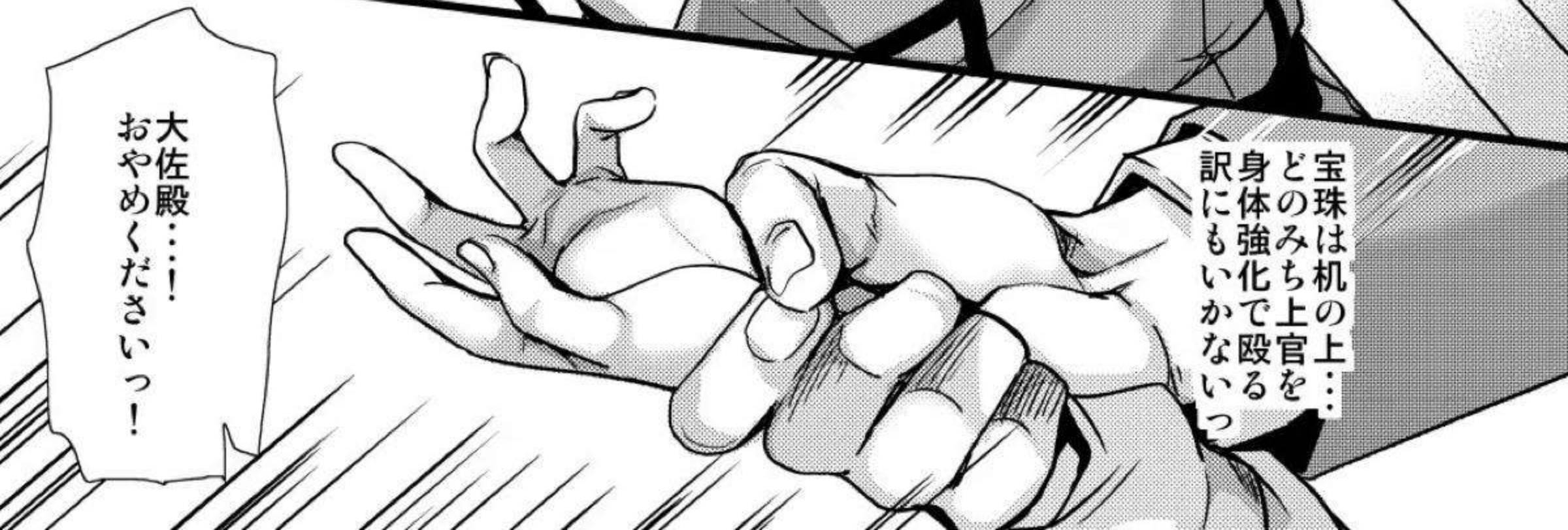
手をどけろ



…いえ
それは…

私が確認する

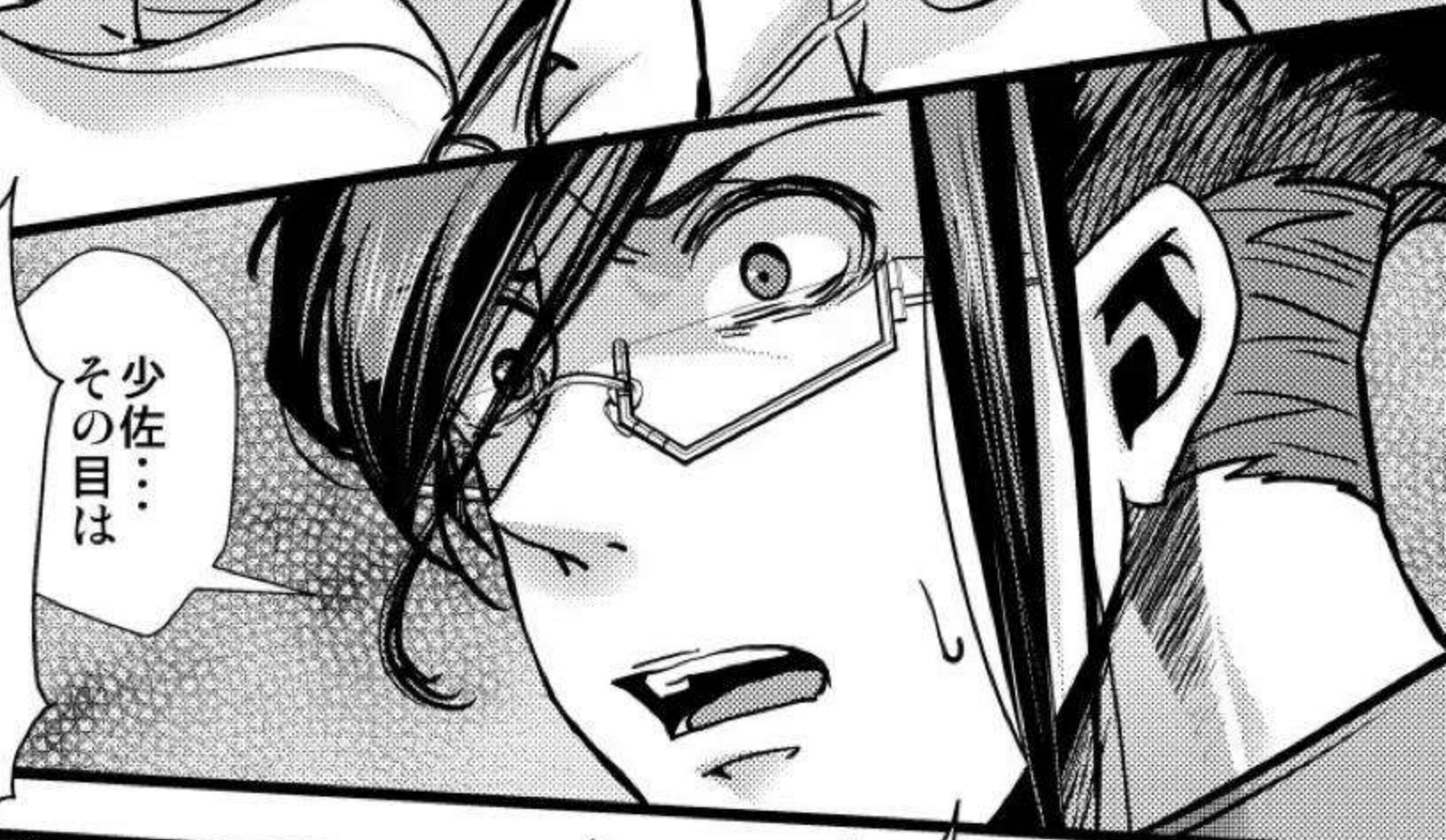
では一度見せて
くれ





少佐…
その目は

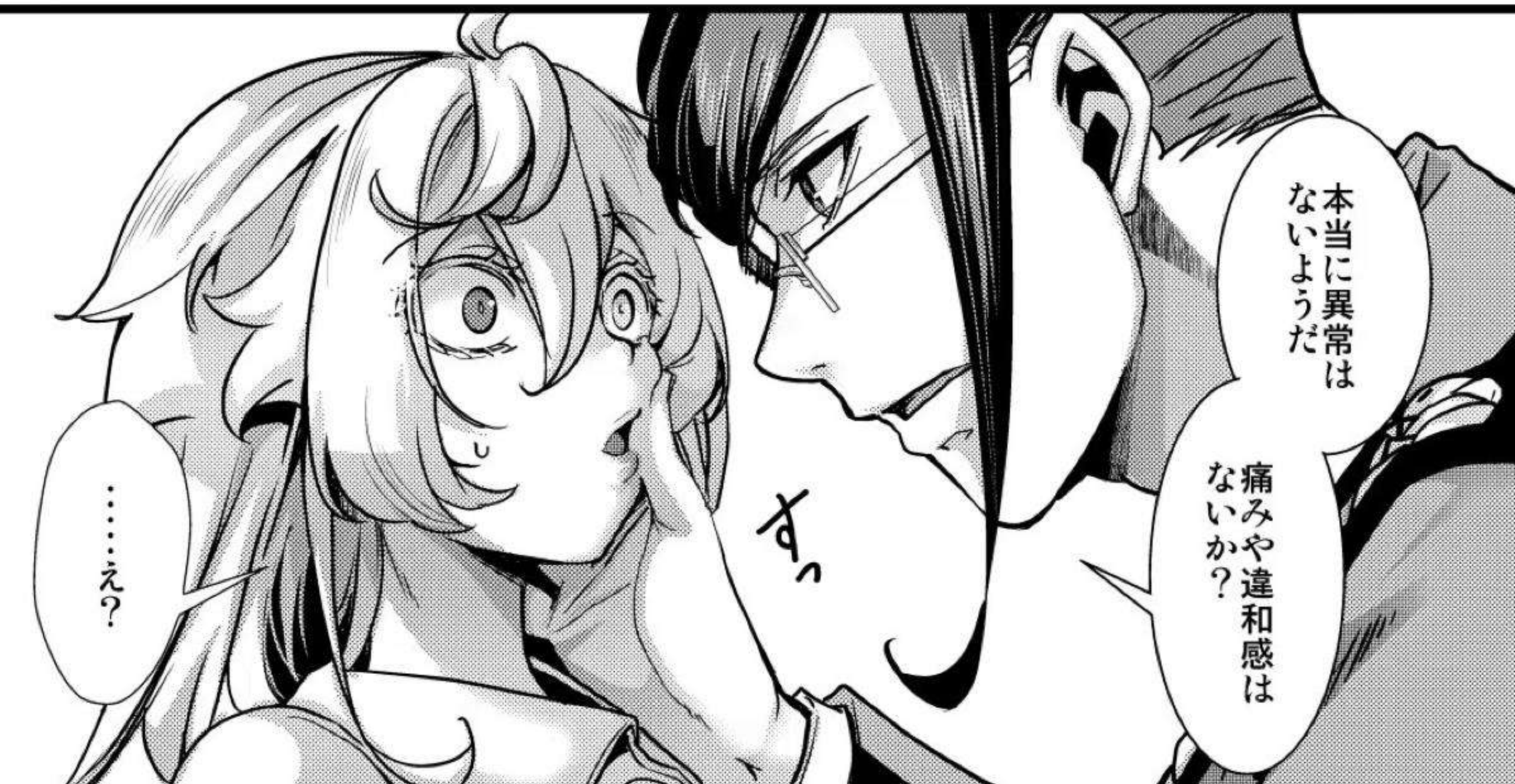
見ないで
ください！



レルゲン大佐殿！



しゅ…っ



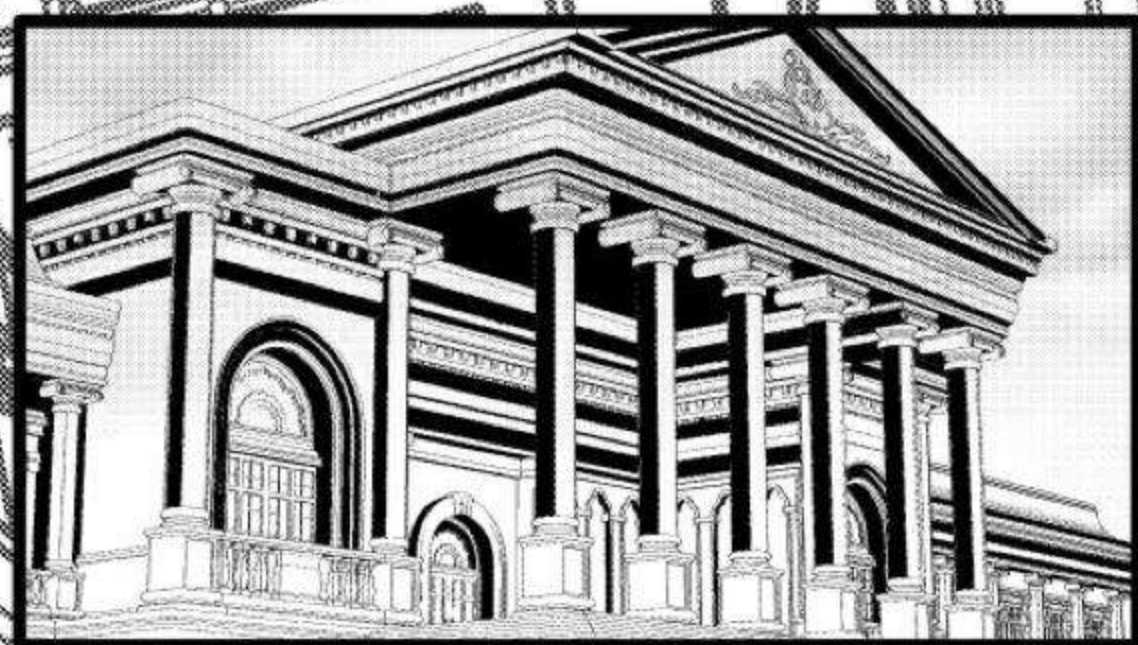


今日はこれで
失礼する

このままいると
君を食べてしまいたく
なるからな

おやすみ

ターニャ



まずいまずいまずい
非常にまずい！

早く何とかしなければ…
どうしてこうなった!?

他の者に昨夜のような
場面を見られたら
大問題だ

レルゲン大佐殿の評価が
私のせいで下がったり
でもしたら…

出世に響く可能性が
ある以上、早く
対策を考えねば…っ

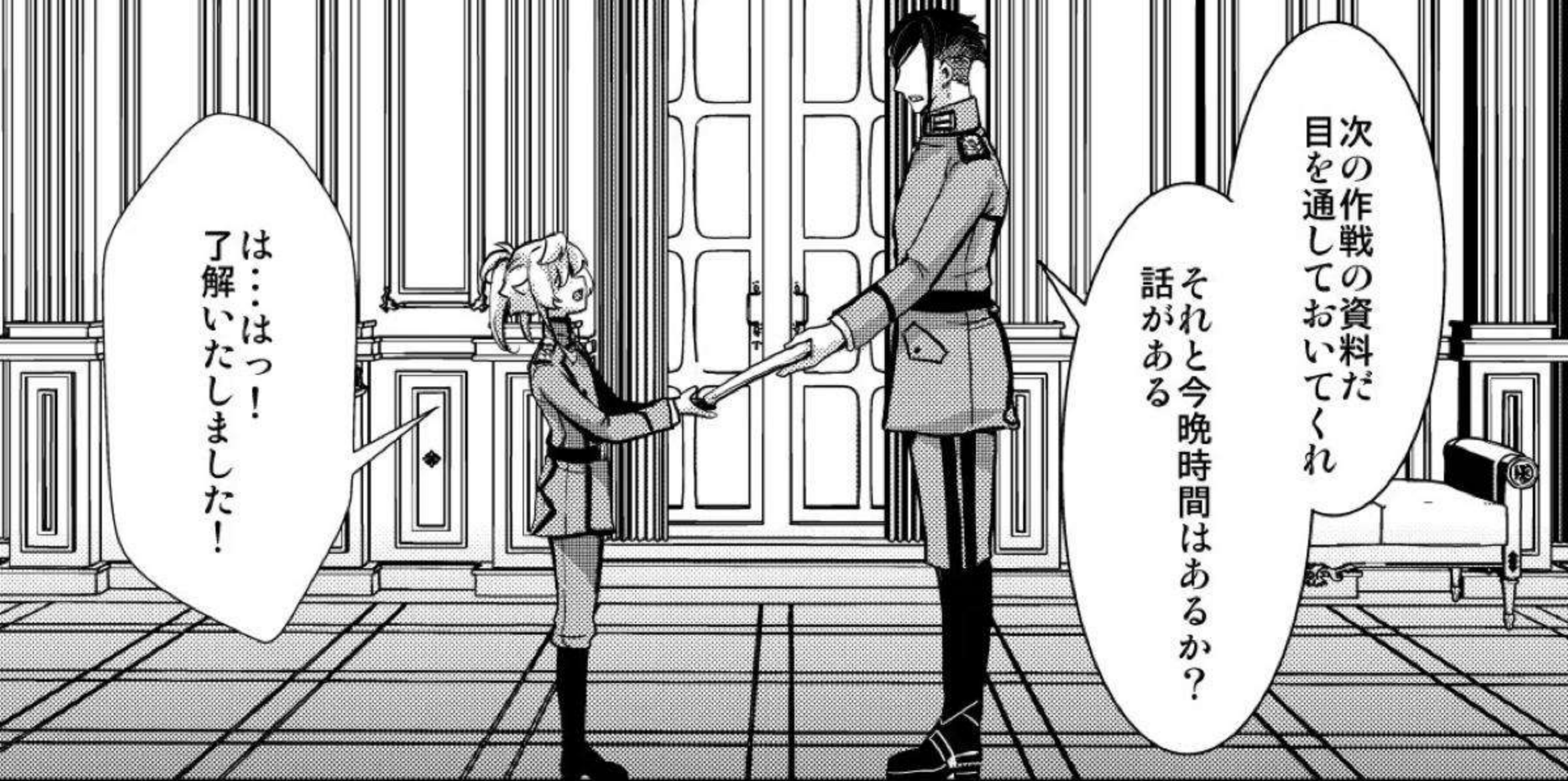
デグレチャフ少佐

…レルゲン大佐殿…

どうした？
顔色があまり良くないな

い…いえ、
問題ございません

なんてタイミングの悪い！
また手の甲にキスでも
するんじゃないだろうな!?

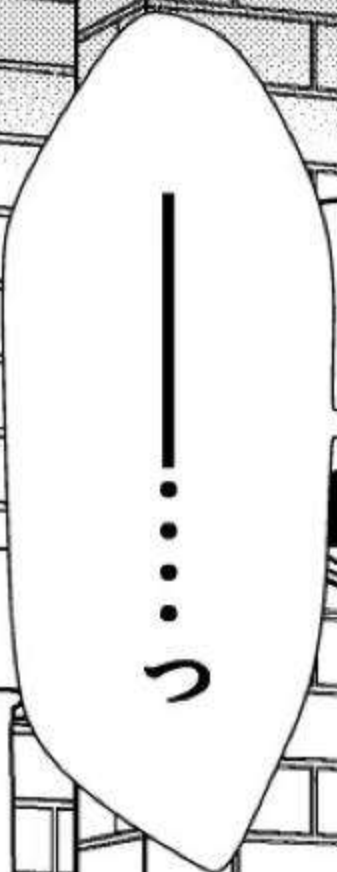


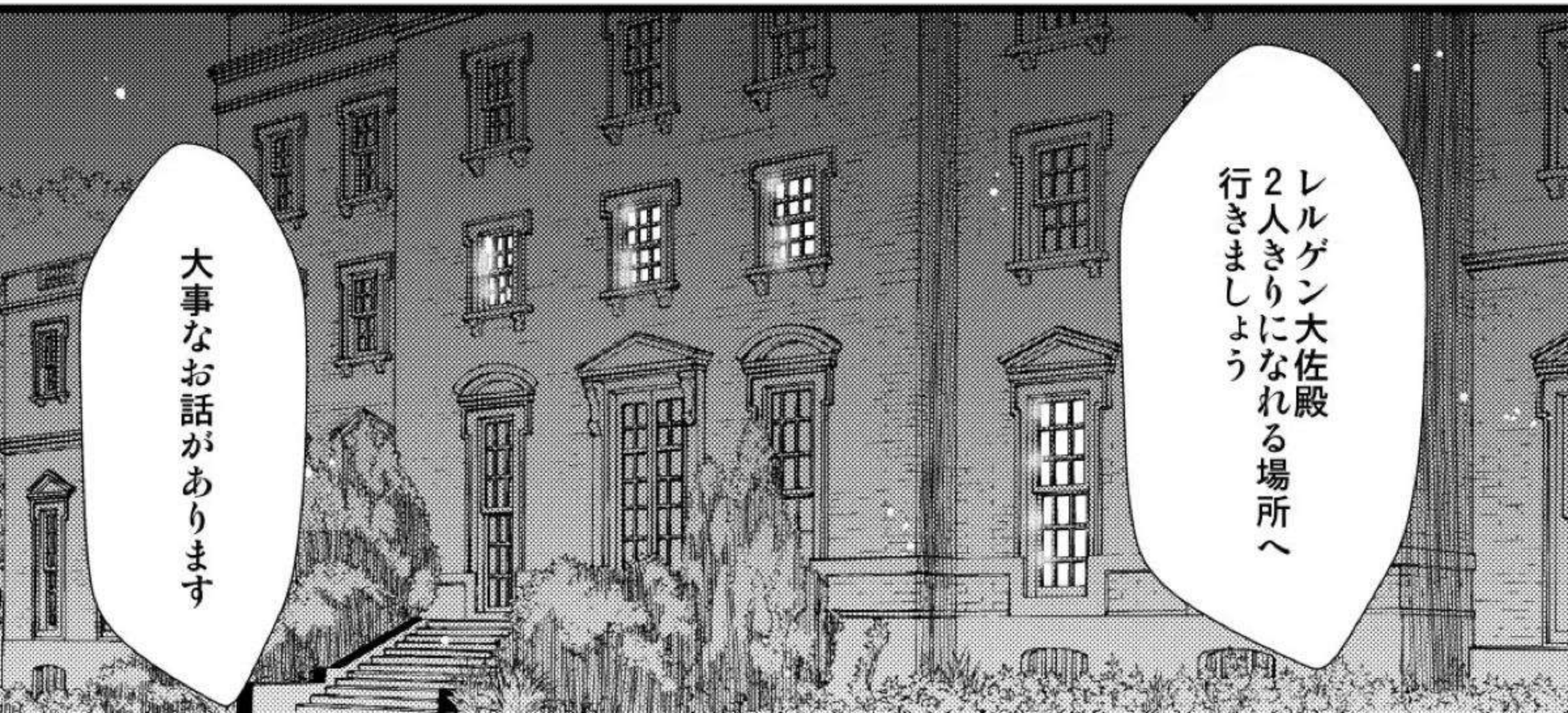
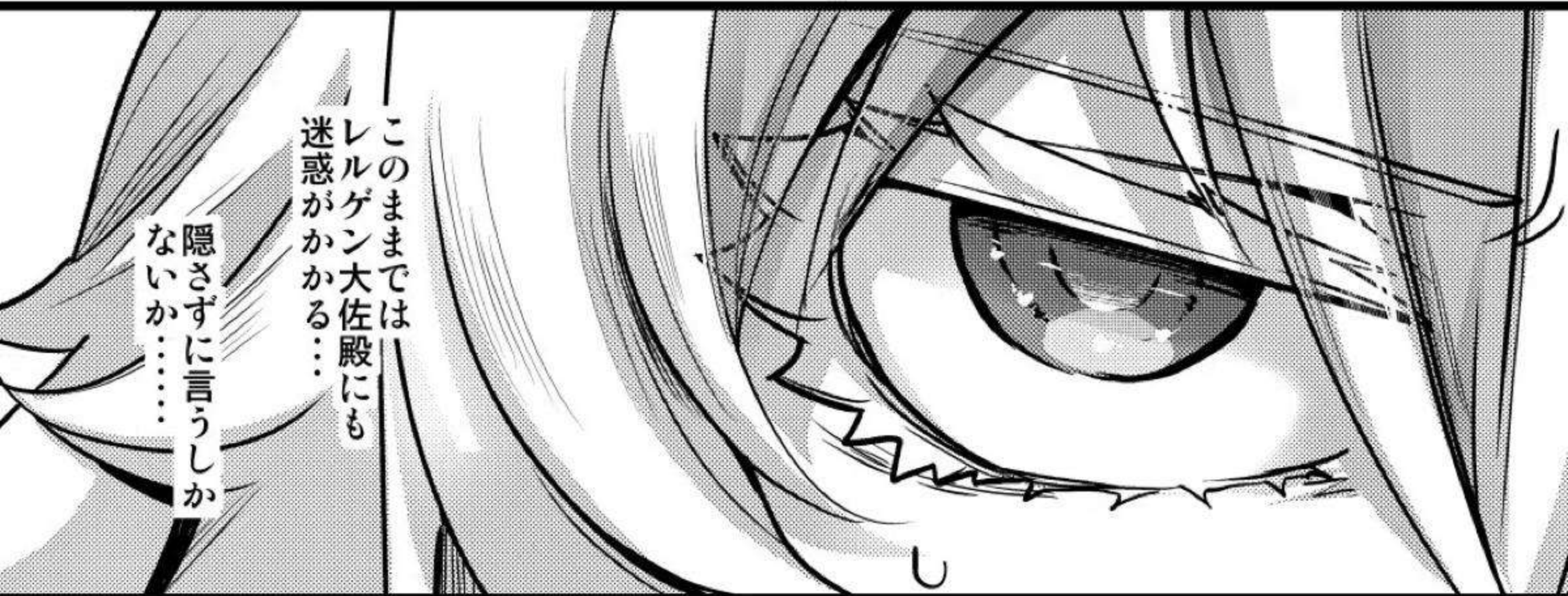
特にいつもと
変わらない大佐殿だ



話と言うから
昨夜の事かと
思ったが仕事の
話が主で安心した

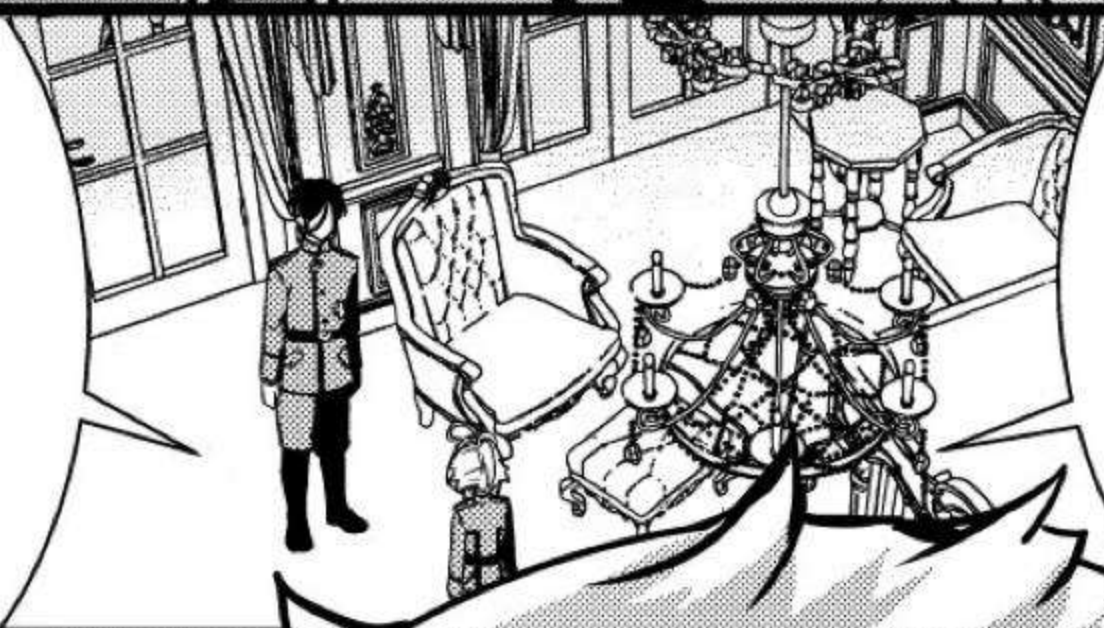
やはり一過性の
ものだったんだな





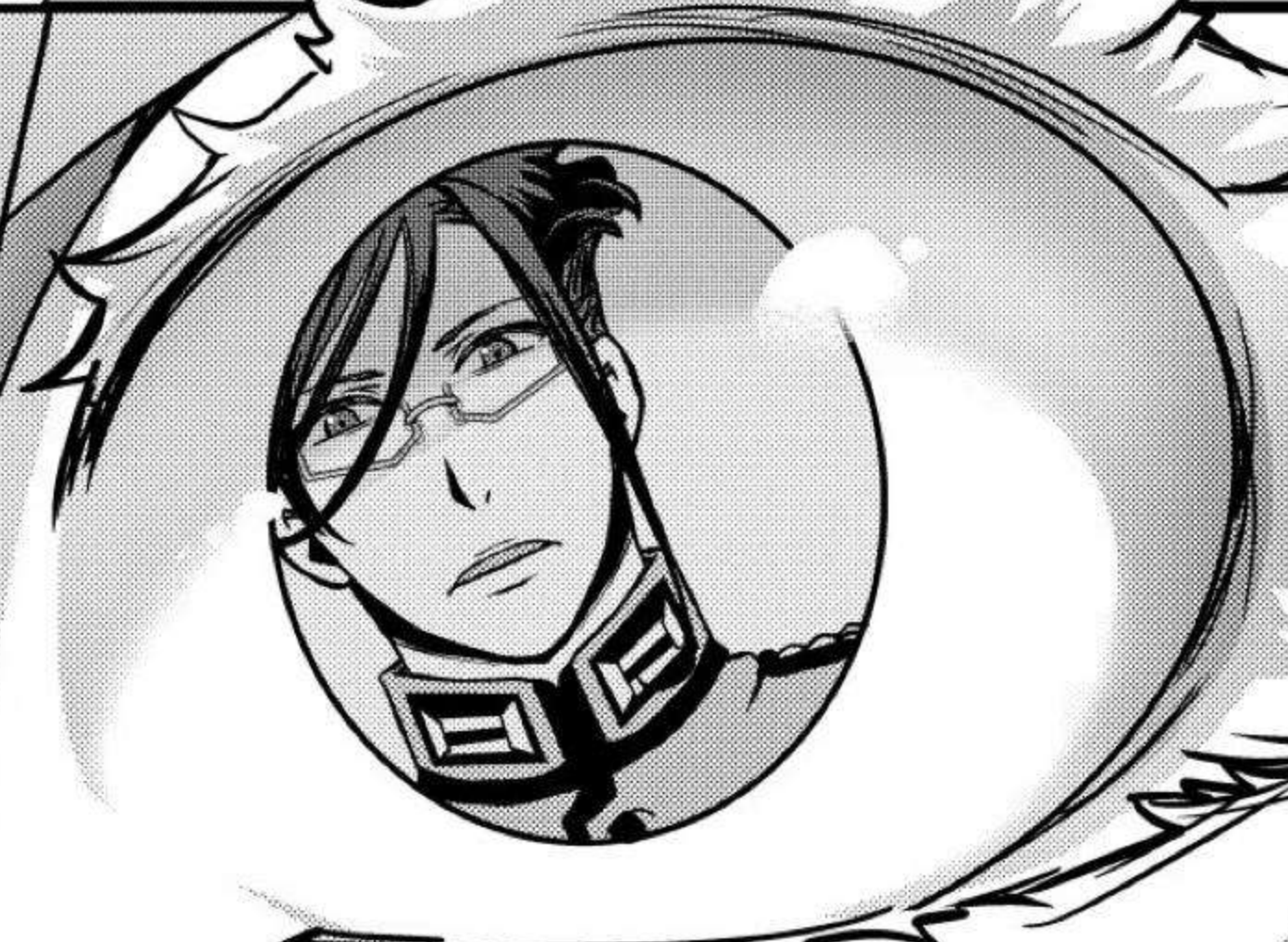


大佐殿がそのような
気持ちになっているのは
この目のせいです



この目で相手を見、
名前を呼ぶと
本人の意志とは
関係なく魅了されて
しまいます

大佐殿は一種の
洗脳状態です



その気持ちは作られた
物であり、大佐殿の
本心ではありません

……そうか

確かにそうだな

さすが冷静な大佐殿……！
これで誤解は解けるはず

ほっ……

唐突に湧きあがった
この感情はその
洗脳のせいかもしれない

だが、私は君が軍に
入隊した頃から常に
気になっていたのは事実だ

……は？



最初は君を
危険視していた

化け物だと思った
時もある

だが君が軍人として
優秀なのも理解している

君は

唯一無二の
存在だ

今回の事はただの
きっかけに過ぎない

私はきつと

な……に言って……

いずれ私自身が
気付くはずだった
気持ちを早めただけだ

以前から君を
好きになっていた

大佐殿が私を!?

いや、これも
洗脳のせいなのか!?





この言葉も
洗脳のせいだと
思っているのか？

え…いえ…その…っ

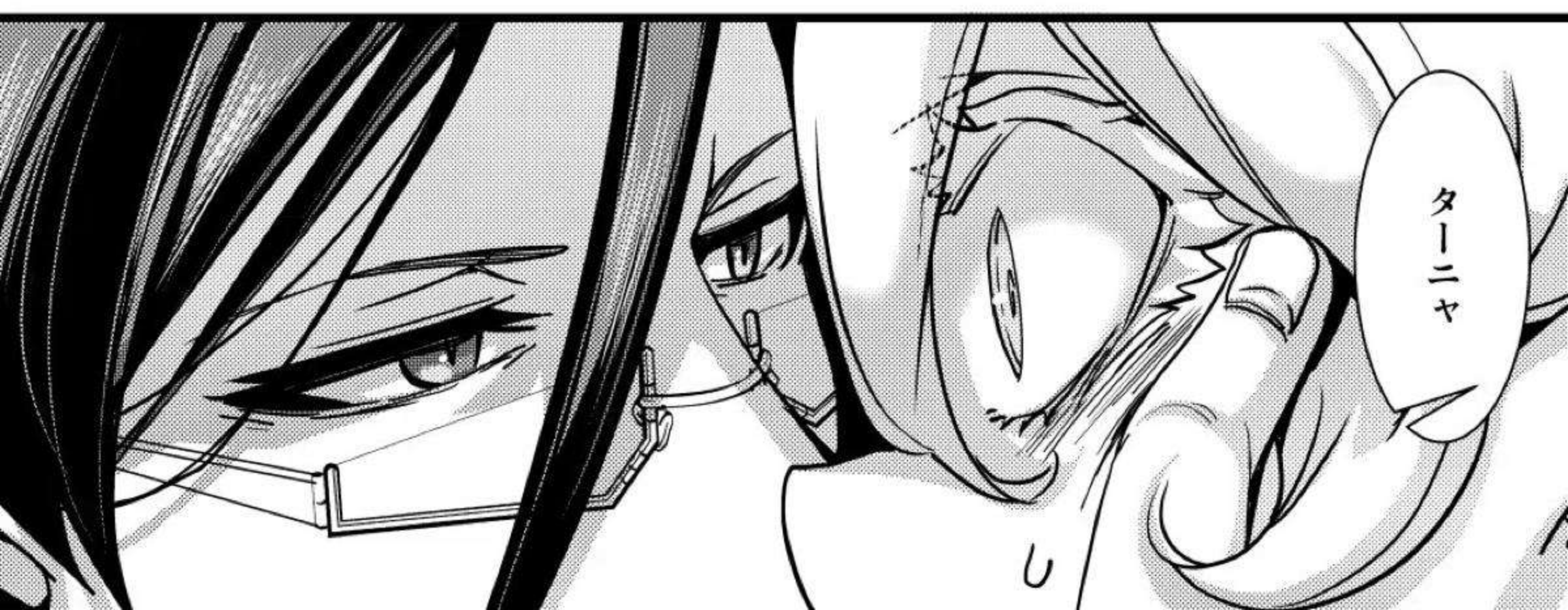


どうしたら
信じてもらえる？



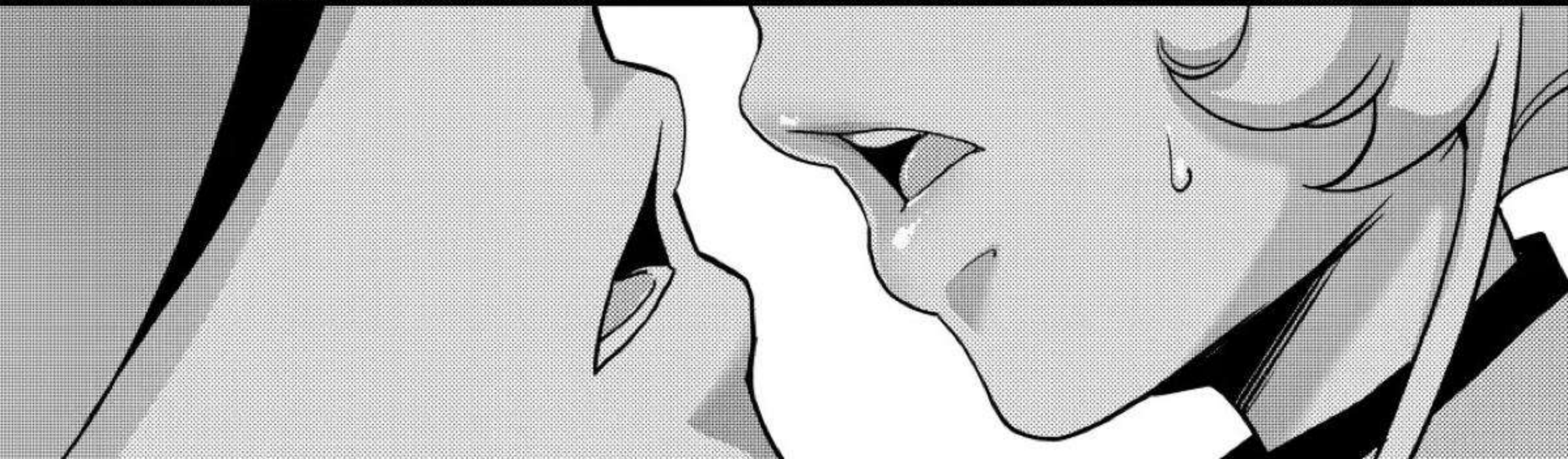
どうすればいい!!
相手は上官だ…!!

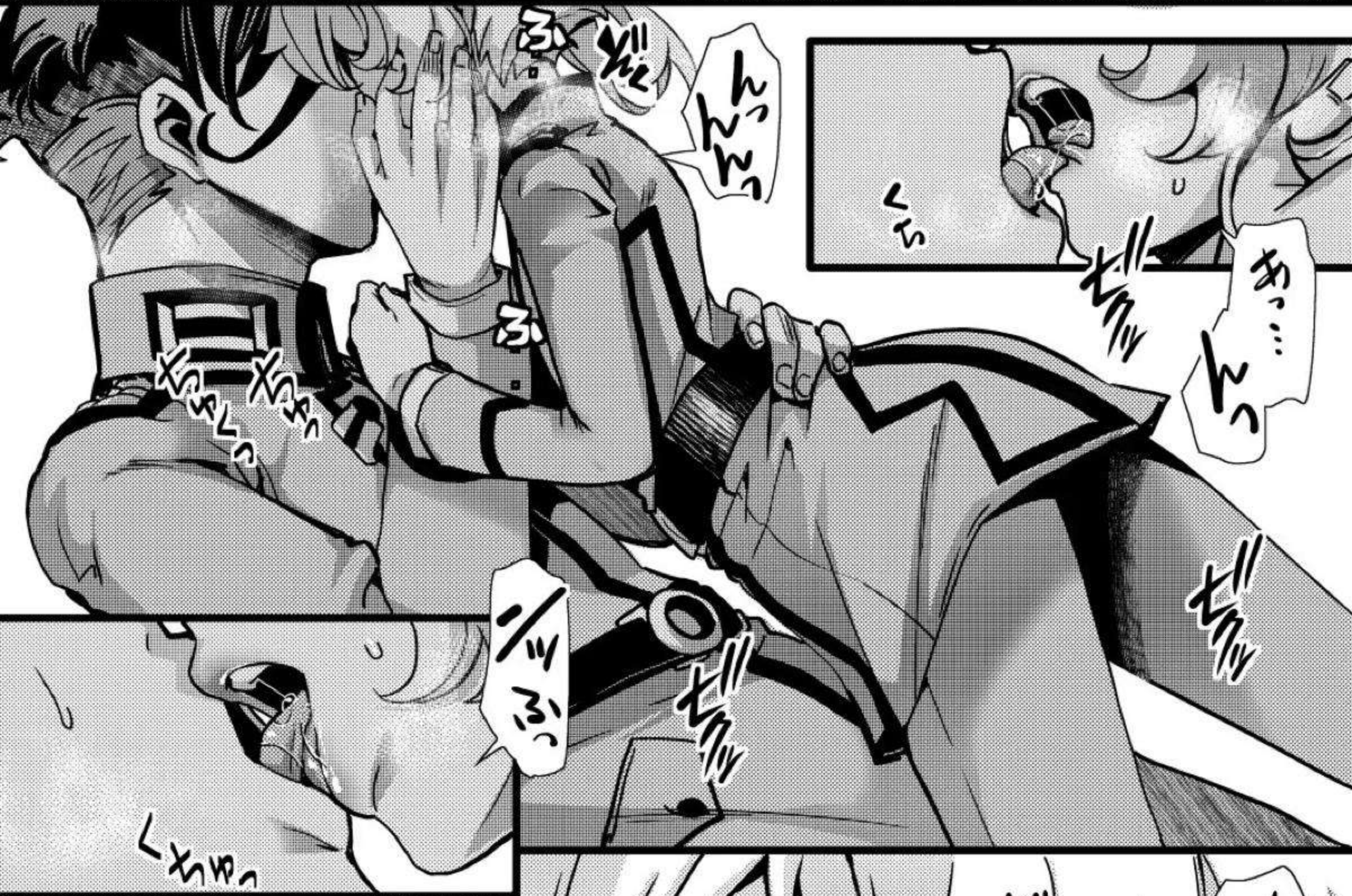
下手に振りほどくわけには…っ



ターニヤ

し









た…大佐殿っ！

他に好きな男が
いるのか？

いえっ！決して
そんな事は…っ



ああ、良かった

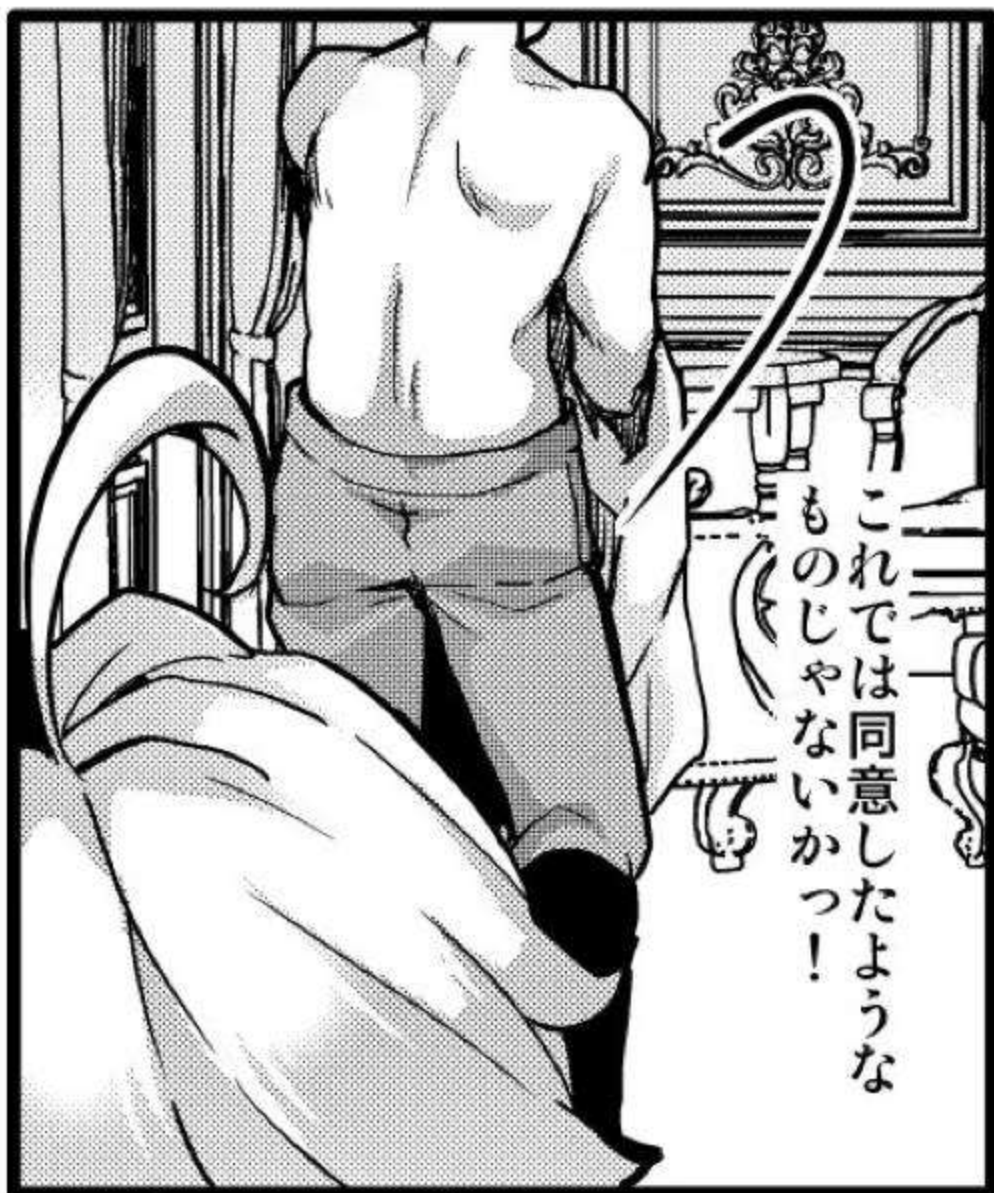
愛してる

ターニヤ



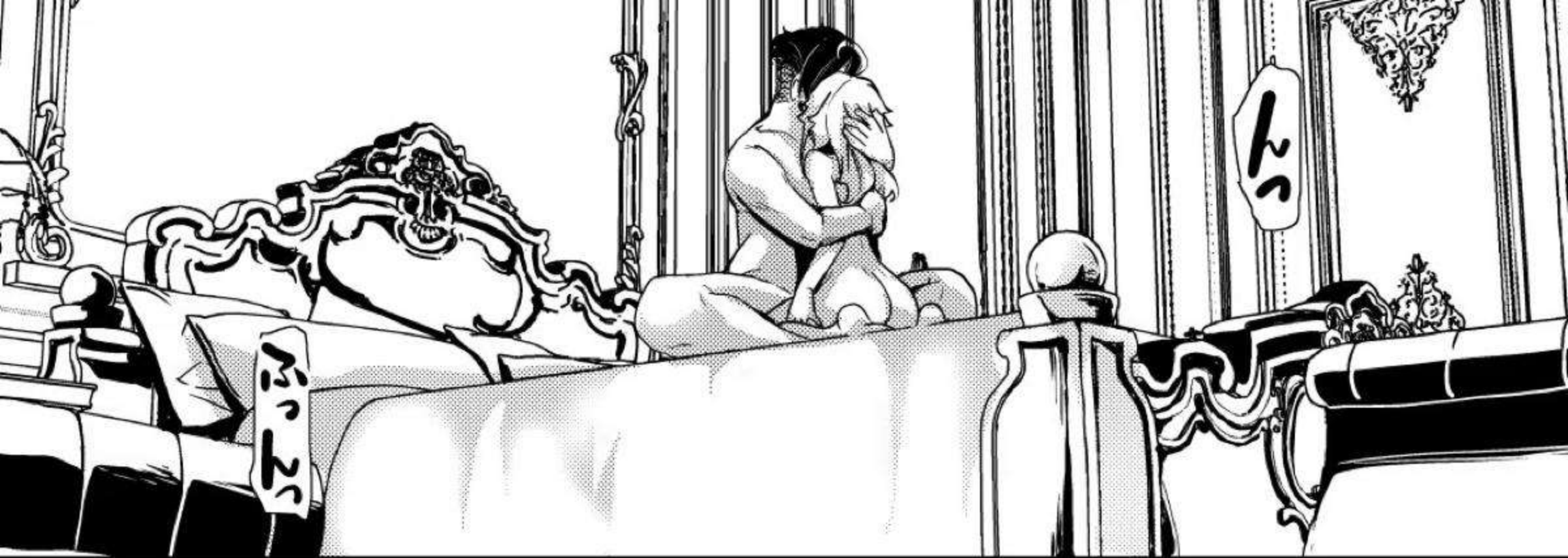








で...デカッ...







こんなに勃ってる

んっ
んっ

んっ

んっ
んっ



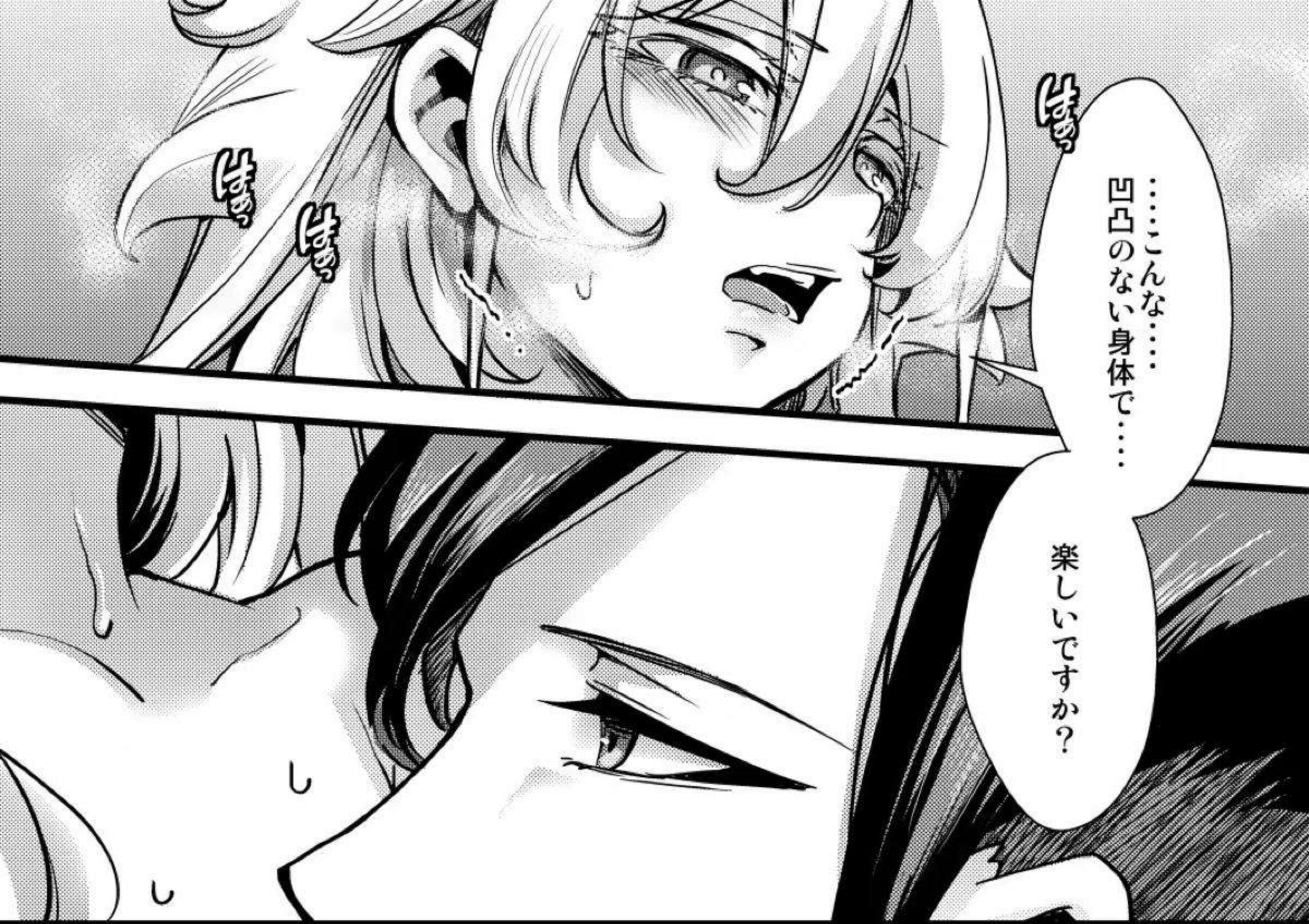
期待してくれてたようで
嬉しいよ

ふあ

なっ……ち……が……

もっ

もっ



……こんな……
凹凸のない身体で……

楽しいですか？



私は君だから
愛しているし

君だから
抱きたいんだ

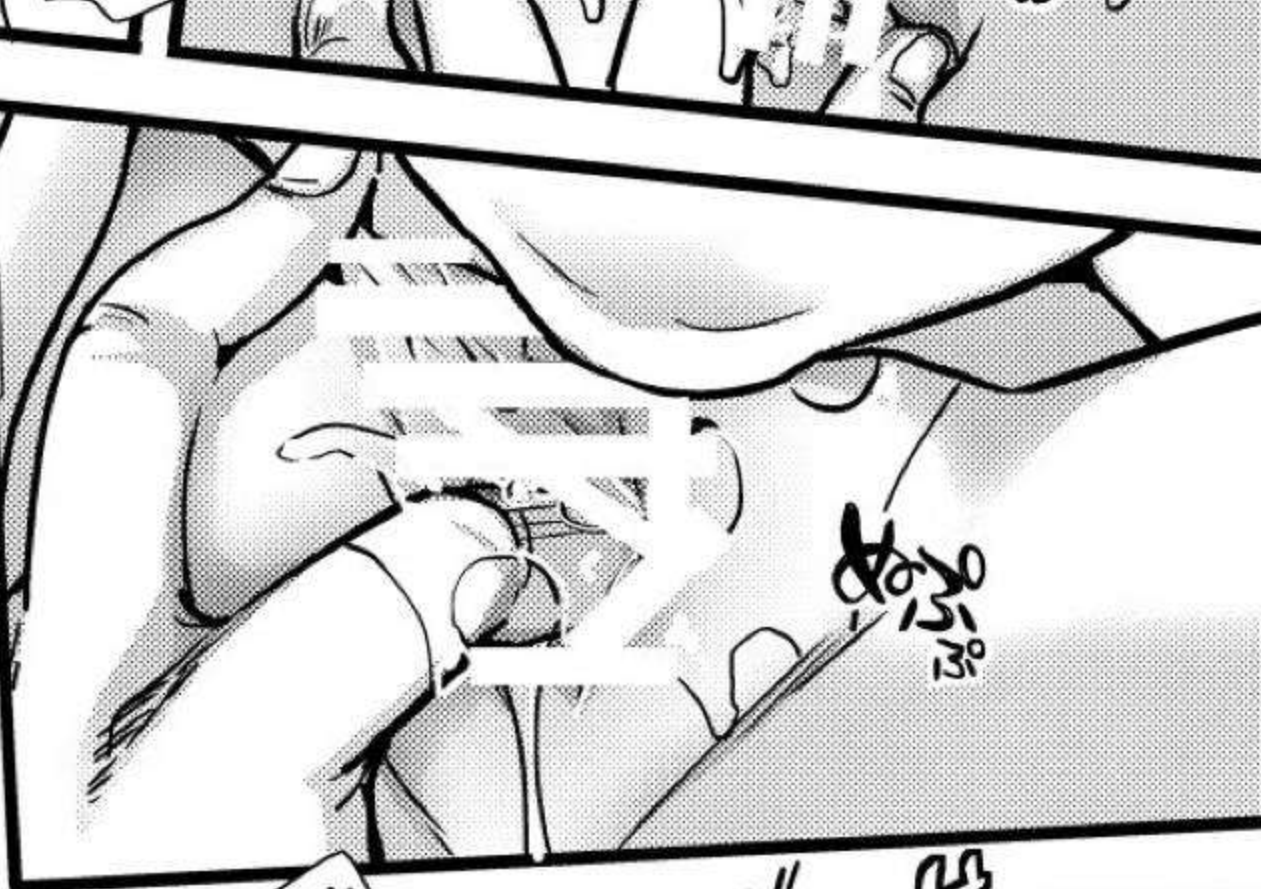


かあ...

大佐殿...っ
まってくださ...っ

...え...なっ...

あ...あ...あ...





ぐしゃ

ぐしゃ

ぐしゃ

ぐしゃ

大佐殿...っ

ぐしゃ

ぐしゃ

ぐしゃ

ぐしゃ

ぐしゃ

ぐしゃ

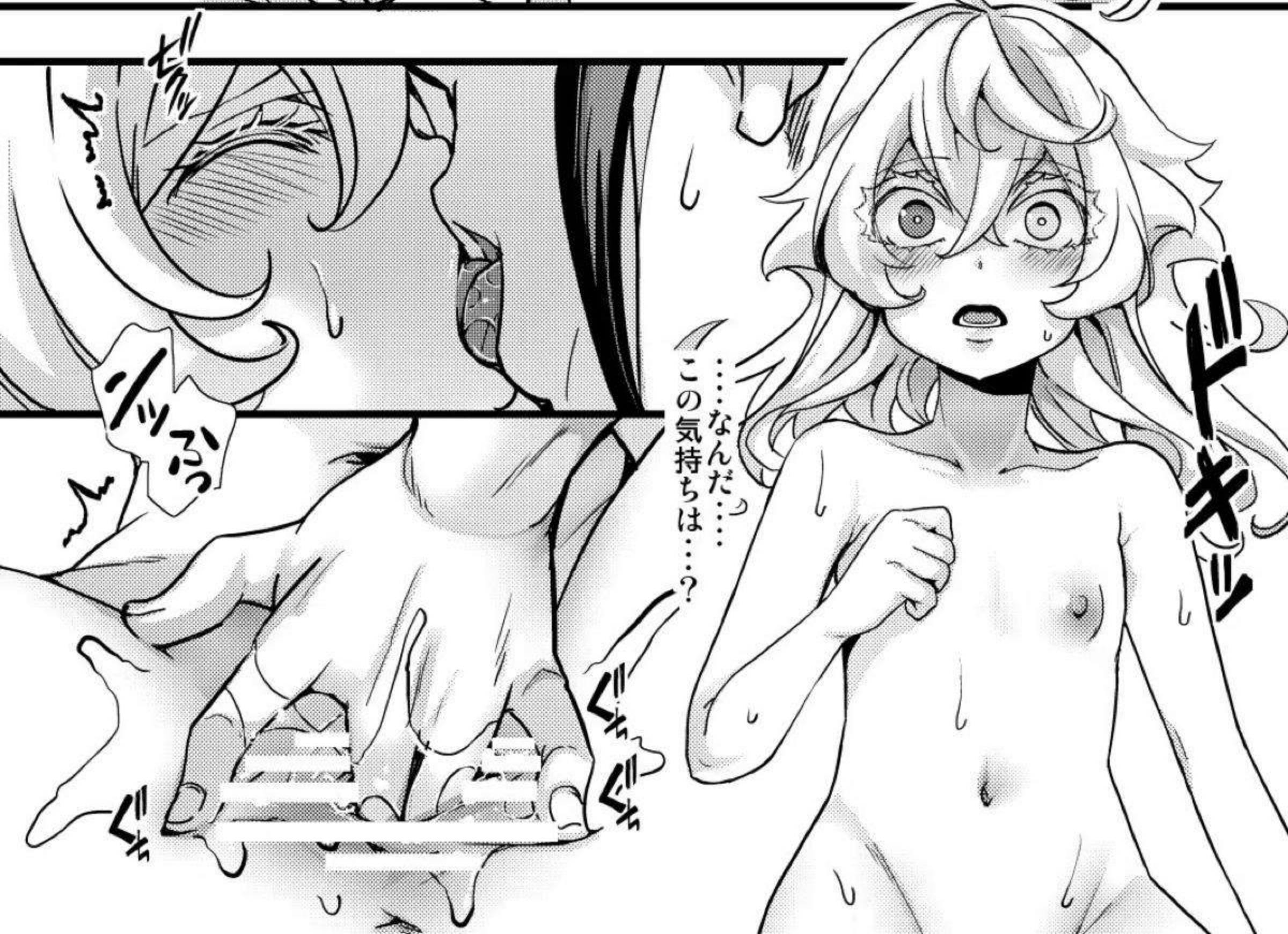
ぐしゃ





あ
やつ...大佐殿...
もっ...やめっ
あ

我慢しなくて良い
全て見せてくれ





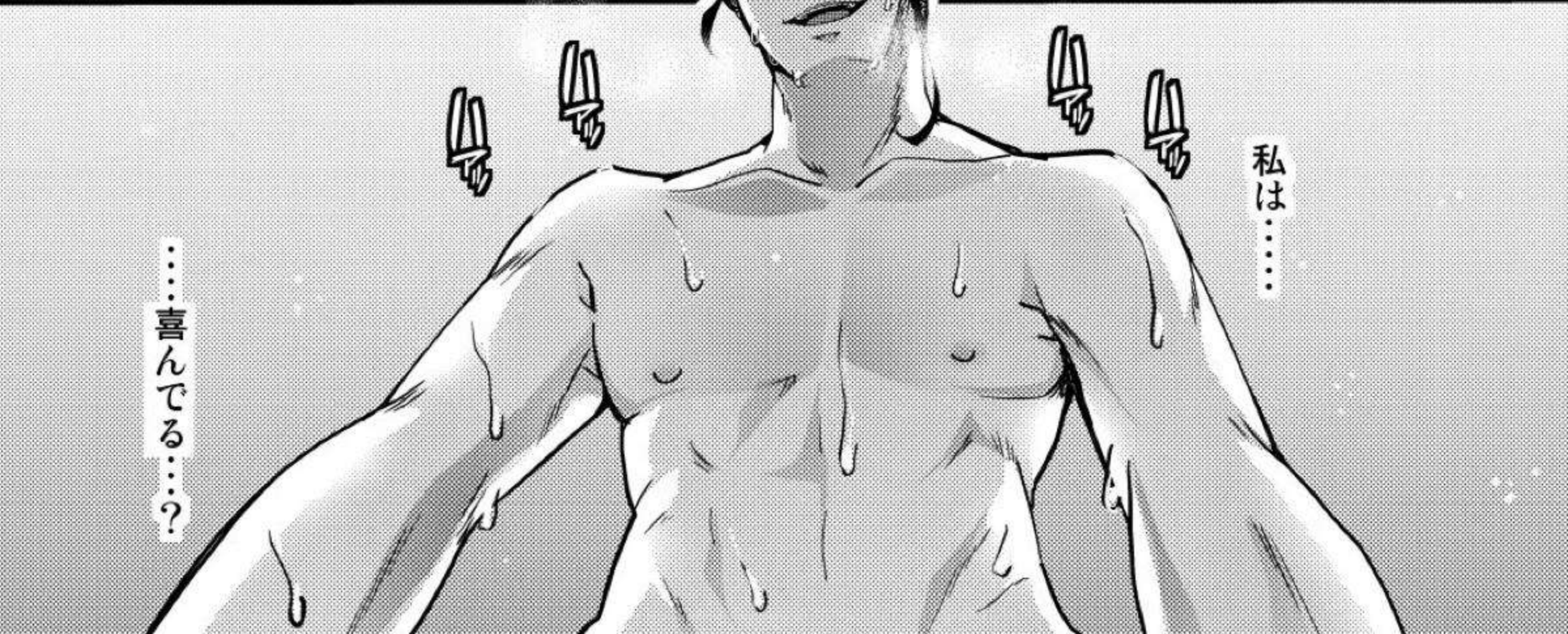
ターニャ

大佐殿に触れられる度…

あぁあ

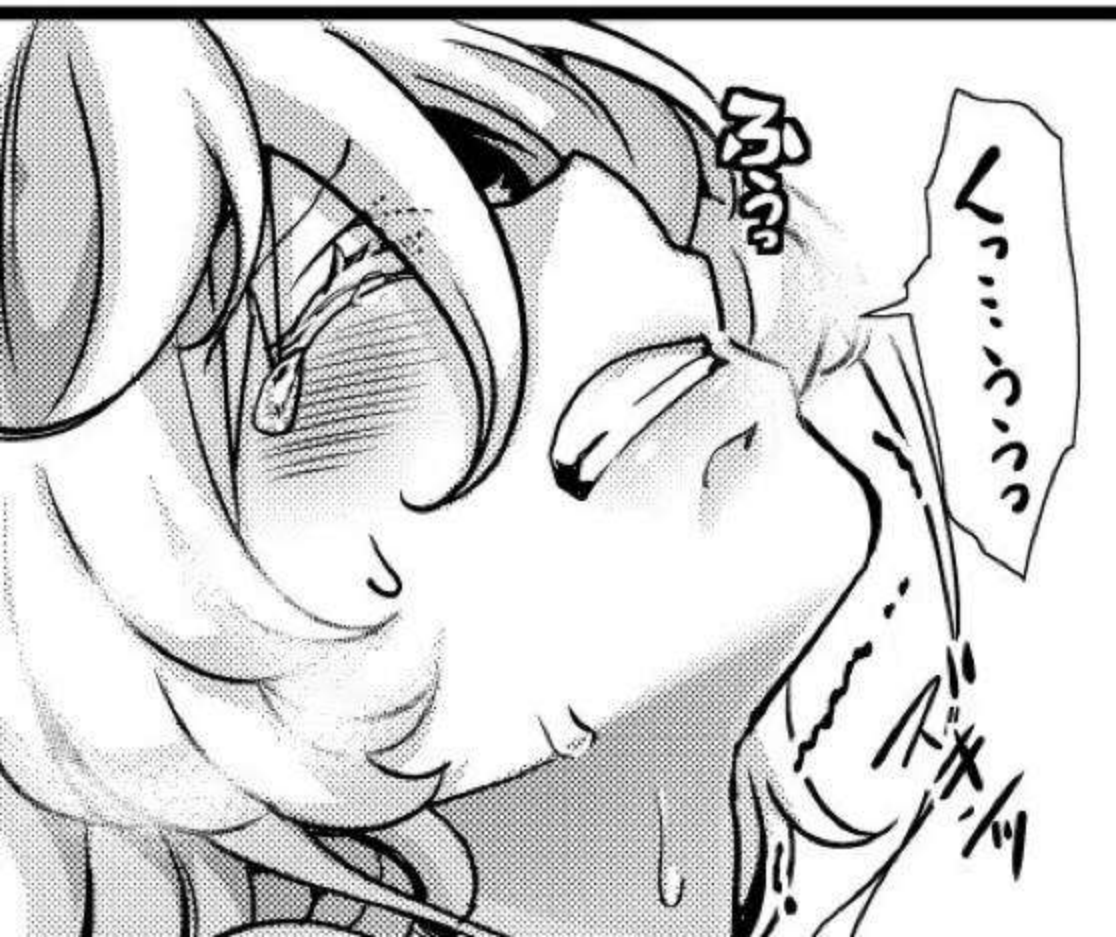
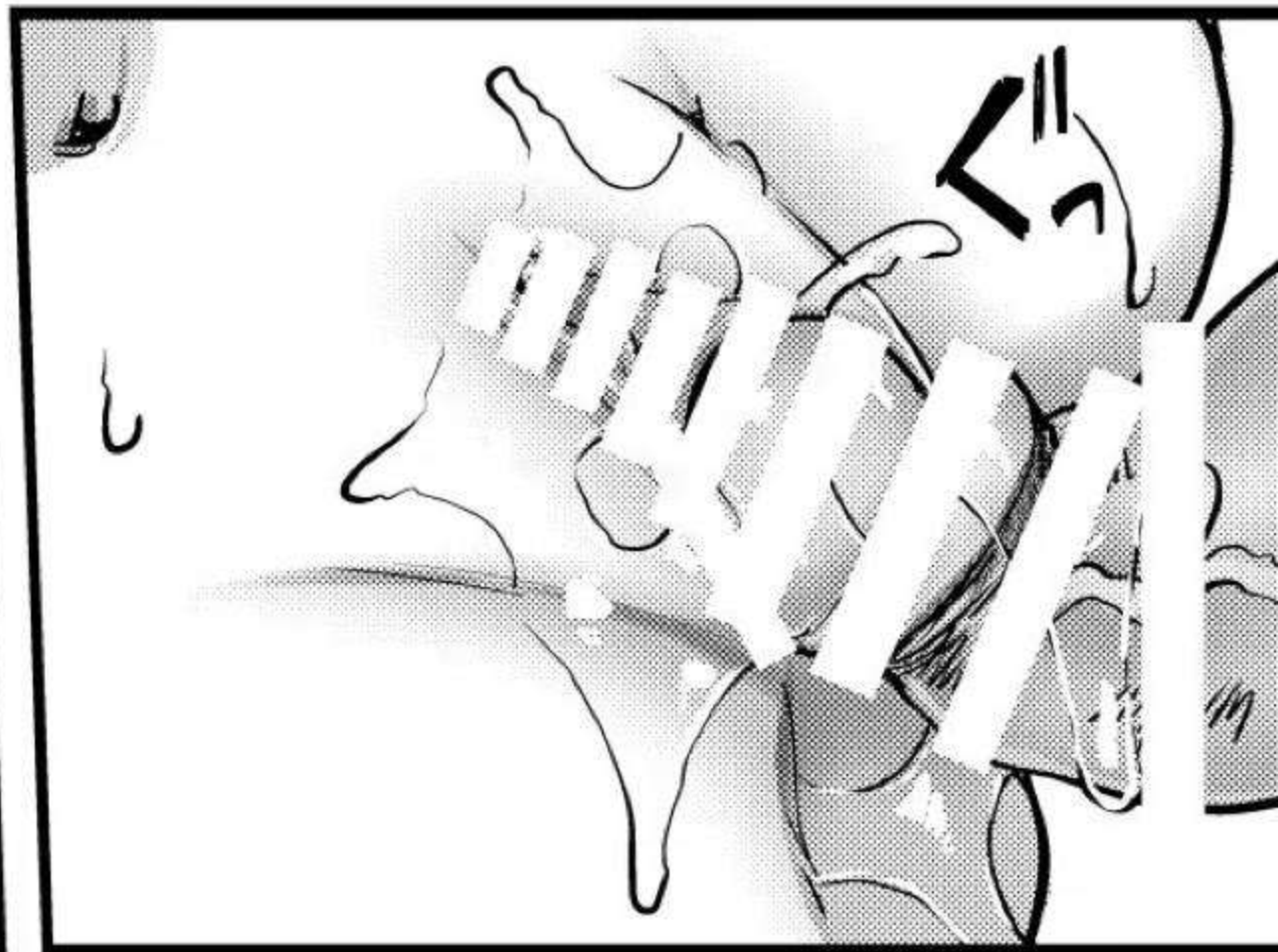


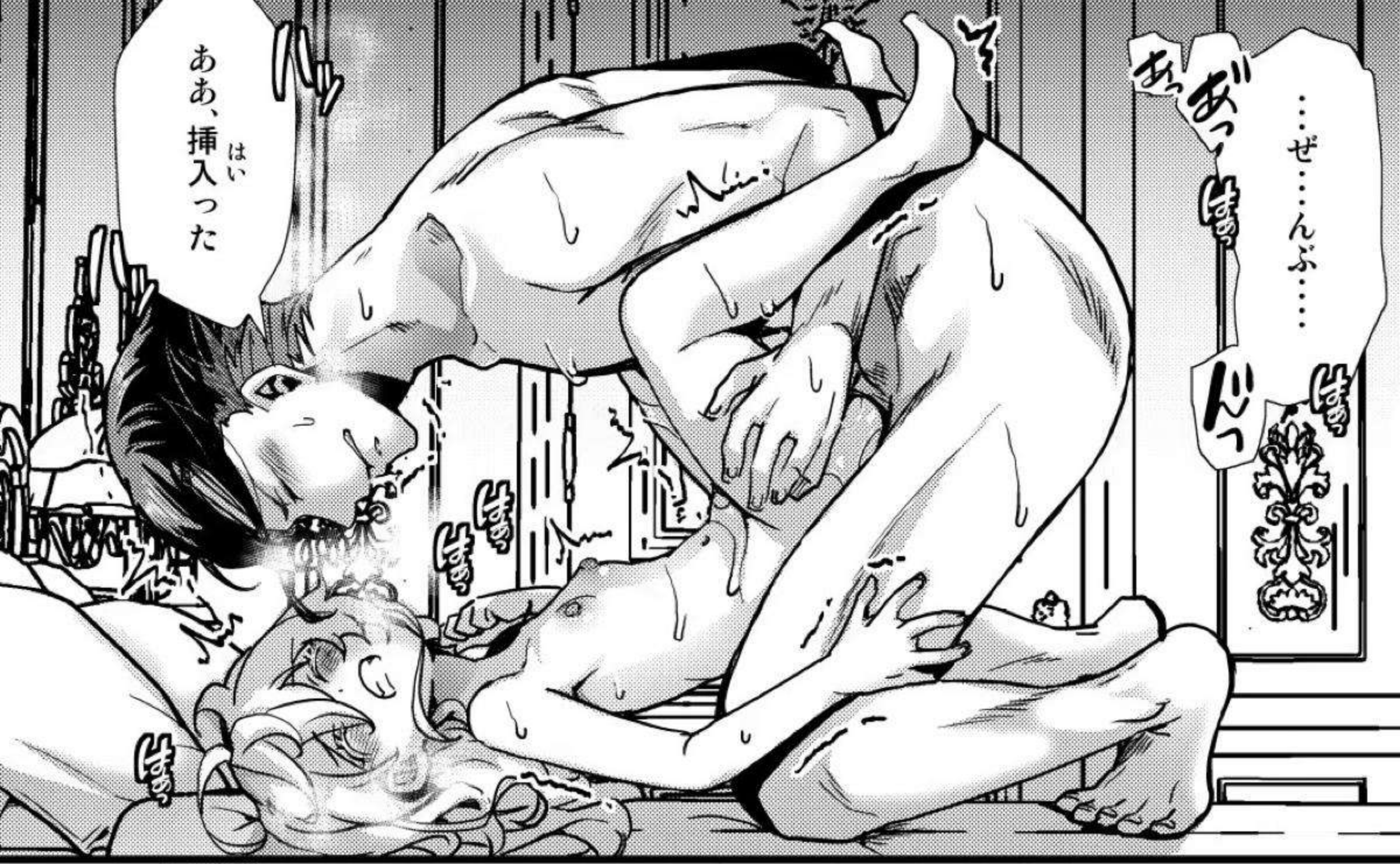
名前を呼ばれる度に…
心臓が跳ねる…



私は…

…喜んでる…?







ここか?

ターニヤのナカは
締め上げて悦んでる
ようだが?

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

そこっ
...やっ

あー

あーあーあー

ちや

ちや

あー

あーあーあー



これ…深っ

やあ
あー
あー

んあ



…っターニヤのナカは
締め付けて悦んでるっ

やあ
あー
あー

やあ
あー
あー



はあ
あー
あー

はあ
あー
あー







ああ、君が言っていた
あれか…

確かに目の色も
戻っているな
違和感はないか？

は…はい…



!?

た…大佐殿!?

異常なほど君を欲する
感覚は治まったが、
その間の記憶が無い
わけではない

先程も言ったように
今回の事はきっかけに
過ぎない

私は、ターニヤ
君を愛してる

君はどうなんだ？

私が上官だから
断れないなどというのは
フェアじゃない

わ…私は…

目が戻る条件は
人を愛する事…

目が戻ったという事は…

…愛というものが
よくわかりませんが…

大佐ど…エ…
エーリツヒの事が…

す…好き…
なのかもしれません…っ

ありがとう
ターニヤ

かあぁ

君がハッキリと私への好意を
自覚できるよう
私の全てをもって君に愛を伝えよう

……よくそんな
恥ずかしい台詞が
言えますね……

事実だからな

END